

## 委員会報告(案)「基幹系無線システムの高度化等に係る技術的条件」の意見募集の結果及び意見に対する本委員会の考え方

(平成 26 年 4 月 22 日から同年 5 月 13 日 意見募集)

## 【意見提出：3 件】

意見提出者	意見	委員会の考え方
株式会社 NTT ドコモ	<p>報告(案)については、基幹系無線システムの高度化において、今後の技術進歩に合わせた柔軟なシステム導入、および、伝送容量の大容量化への方策が適切に盛り込まれており支持します。</p> <p>【既存システムとの共用について】</p> <p>現行制度の規程範囲内において高度化の報告がなされており、高度化システムと既存システムおよび他システムとの共用条件等が従来と変わらず影響がないことから、十分に配慮されており適当であると考えます。</p> <p>【FWA システムの審査基準の見直しについて】</p> <p>今後の利用ニーズの変化を踏まえ、柔軟な制度見直しに向けた方向性が示されたことに賛同いたします。</p> <p>【今後の制度改正にあたって】</p> <p>今後の制度改正にあたっては、本報告案を踏まえ既存業務に十分配慮したものとなるよう希望いたします。</p>	<p>頂いた御意見は、本報告案に対する賛同意見として承ります。</p>
KDDI 株式会社	<p>弊社では、基幹系無線システムを携帯電話基地局のエントランス回線として利用しております。携帯電話基地局については、急激なトラフィック増加に対応するための高速大容量化が進んでおり、そのエントランス回線についても同様に高速大容量化が求められます。</p> <p>本報告(案)は、基幹系無線システムの高速大容量化を含む高度化を行うものであり、お客様へのより快適なサービス提供が期待できるものであることから、本案に賛同いたします。</p> <p>なお、答申後、速やかな制度整備により早期導入が可能となることを希望いたします。</p>	<p>頂いた御意見は、本報告案に対する賛同意見として承ります。</p>
個人	<p>基幹系の無線通信については、6～10GHzに1GHz帯域程度の周波数を割り当てることで、大容量の無線通信路は確保して欲しいのです。</p> <p>偏波面をかえることと合わせたら10Gbit/秒クラスのスピードは、それ程難しくない方法</p>	<p>御意見として承ります。</p>

で可能です。

それに帯域が1GHzを超える周波数で固定間通信をする場合は、空中線の半値角は1度程度であり、必要によりたくさんの周波数も使うことも可能です。

それにFWAも光ファイバー網を相手にするよりも、直接家やマンションとつないだ方が安いです。現行の半分程度の値段が目標になると思うのです。

これらの技術は全世界的なマイクロ波の技術を使うことになると思うのです。日本だけで生産しても大した数ではないので、同じ規格の製品を世界的に行い安く生産して欲しいのです。大量生産することで安くするということです。

710MHz～6GHzまでは基本的に第4世代携帯電話の周波数することにして、6GHz以上の周波数は基幹系の中継回線や基地局との通信に用いるべきです。